

もの識り検定（通称「もりけん」）※1級に、最年少で合格した佐々木俊一さん（52）＝厨川二＝を紹介します。  
※盛岡市に関する歴史や文化、自然など多分野にわたり「盛岡通」度を認定する検定試験（盛岡商工会議所主催）。佐々木さんを除く過去の1級合格者は8人で全員60歳以上



**盛** 岡もの識り検定を受けたのは、会社の同僚に誘われたからです。タクシー運転手の仕事柄、「知識があれば、観光客との会話も弾むかも」と軽い気持ちで受けました。2、3級は順調に合格しましたが、1級は簡単にはいきませんでした。「動物公園で生まれたアルパカの赤ちゃんの名前は？」など、その年の時事問題も出題されるので、あらゆる分野の知識が必要。6回目の挑戦でやっと合格しました。途中で諦めなかったのは、単純に悔しかったから。勉強しているうちに、面白くなってきたというのも大きいですね。試験の3、4カ月前からは、自然と午前3時過ぎには目が覚めて、勉強してから出社していました。盛岡のことを深く知れることが楽しかったのも、それを苦勞とは思いませんでした。

実は、合格して肩の荷が下りるところか、逆にプレッシャーを感じています。合格すると、タクシー内に掲示する認定証がもらえますが、お客さんから「もりけん1級なら、もちろん知ってるよね?」と言われることもあって…。間違ったことを答えるわけにもいかないの、知識を忘れないようにしないと！今も仕事の休憩中に手作りのテキストで勉強しています。現状に満足せず、もっと盛岡のことを深く知っていきたいです。



年代ごとにまとめられた手作りのテキスト

## 写真 de もりおか

市内で開催されたイベントや出来事を紹介します。紙面で紹介しきれなかった写真は、市公式ホームページの取材日記に掲載しています。



取材日記

### 2 17 56年の歴史に感謝を込めて



中央通勤労青少年ホーム（中央通三）が3月31日で閉館するにあたり、同ホームへのサンクスパーティーを開催しました。職場でも家庭でもない第3の居場所として、これまで延べ112万人もの若手社会人などが利用。クラブ活動などを通じて趣味や教養を深め、友情の輪を広げてきました。パーティーに参加した約80人の利用者たちは、当時の思い出を語り合い、ホームとの別れを惜しみました。

### 3/8~3/31 カキ小屋でおいしい笑顔



地域活用ゾーンSIDE-B（中ノ橋通一。旧盛岡バスセンター所在地）に、出張カキ小屋「牡蠣奉行」（榎THREE主催）が登場しました。復興支援として、山田産・宮城県産のカキを応援価格で提供。訪れた人は、殻ごと炭火焼きし、熱々に焼きあがったカキに箸が止まらない様子でした。柴田桜花里ちゃん（2）＝向中野二＝は、なんと生まれて初めてのカキ。お父さんと一緒に笑顔でほおぼっていました。

### 3 12 健康は日々の運動から



65歳以上の人を対象に、無理なく続けられる運動を楽しく覚える「元気はなまる筋力アップ教室」を市内各地で定期的で開催しています。会場の1つ、イオンスーパーセンター盛岡渋民店（渋民字鶴飼）では、月1回の教室に約15人が参加。その中の1人、坂田田代子さん（69）＝好摩字夏間木＝は「家では続けられない運動ができ、笑顔で体を動かして気分も良くなる」と汗を流していました。

### 3 31 ありがとうつなぎ幼稚園



繋地域で住民に長く愛された市立つなぎ幼稚園（繋字館市）が3月21日に閉園式を行い、3月31日に閉園しました。園児5人のうち4人は4月から小学生に、1人は市立太田幼稚園に転園します。41年間で約270人の園児が育った同幼稚園。親子2代にわたって卒園者ということも珍しくありません。5人は楽しく過ごした思い出を胸に、新しい友達との出会いに期待をふくらませていました。

もりけん挑戦（11ページに掲載）の答え  
②アメリカ

広報もりおかへのご意見をお待ちしています  
アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。



#### 編集後記

取材を通してさまざまな人たちに出会えるのが楽しいです。今号の特集に登場した皆さんの言葉や生き方、キラキラした笑顔にたくさん元気をもらいました。（館澤）



地球環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しています。